

新町長に景山享弘氏



2月19日、町長選挙（任期満了による）が行われ、新しい町長が景山享弘氏（三谷）に決まりました。

景山氏は、昭和18年生まれの63歳。根雨小学校、根雨中学校を経て、日野産業高等学校を卒業、昭和37年に鳥取県職員に採用されました。

その後は主に農林、土木関連の仕事を担当し、日野総合事務所県土整備局長、米子地方県土整備局長などを歴任した後、平成15年3月に県を退職。4月に県立皆生みどり苑苑長に就任し、平成17年に退職しました。

その他、平成15年4月から総務省行政相談員として、行政に対する町民からの相談の解決にあたるなど、県政以外にも広く行政について理解、活動をしてきました。

ひっそりしている町財政、単独自立など、かつてない危機の中にあるまちの再建に向けて、新しい体制での町政に期待が高まります。

信頼される町政をめざして

このたび、2月24日付で町長に就任いたしました景山享弘でございます。

もとより微力ではございますけれども、まちの皆様への負託に応えるよう、まちのさまざまな課題の解決に向けて全力を傾ける所存でございますので、よろしくお願いいたします。

「提案箱」を設置、

まちの声を聴く

私は、町民が主役の行政を進めていく考えでございます。そのため、皆様の建設的なご意見を聴き、それを町政に取り入れ、私をはじめとして職員ができるだけ現場に出向き、現場を知ることが大切だと考えております。

また、提案箱を役場、役場黒坂支所（町公民館）、郵便局（根雨黒坂）、日野病院の5か所に設置いたしました。メモでよろしいですのでご利用いただき、多くのご意見をお寄せください。私自身もできるだけ会合などに出向きますので、声をかけてください。

徹底した情報公開で

ともに自立をすすめる

情報公開については、さらに進めてまいりたいと思っております。事業を進める過程ごとにその内容を広く開示し、常に信を問う姿勢を持つことは、お互いの信頼や責任を確かめ合うこととなります。そうしていけば必ずや皆様と現場との信頼関係が深まるものと信じています。

皆様にお願ひがあります。役場や議会まかせではなく、住民一人一人が考えて、自立してまちを支え、つくりあげて欲しいということです。

このまちには、先人が築いてこられた日野郡の中心地としての歴史や文化、それにすばらしい誇りがあります。それを次の世代につないでいくために、今こそ心をひとつにして、一緒に汗をかこうではありませんか。そのためにも、さまざまな形でまちづくりにご参加いただける「場」を作っていくつもりです。

財政再建に向けて

最大の努力を

今、まちは過去あまり経験したことのない財政危機に直面しております。平成18年度予算につきましても、当初から赤字が予想されるものとなっております。この状況は当分の間続くものと思われまます。しかし私たちはなんといたしましても自主再建に向け、最大の努力をしながらはなりません。なお一層の事務事業の

見直しと経費削減に努めます。そのために役場を「住民のために、まちのために働く」という明確な目標を掲げ、従来の縦割り意識を改めて、問題意識を共有できる組織にしたいと思います。さらに、適正な人事を行い、職員一人一人の力を最大限に活かし、やる気の出る集団にしたい。そして、皆様に信頼していただける役場にして、限られた財源を最大限に活かすつもりです。

観光資源を活かした、夢のあるまちづくり

観光振興については、収益を上げるためにも、いまある金持神社、オシドリ、滝山公園、たたら製鉄や出雲街道の歴史、カヌーの里などの観光資源を、宿泊、物品販売に結びつけるソフト力が必須です。しかし日野町だけのお客様を満足させるのは無理なことで、周辺市町村や県、関連する諸団体との連携が大切であります。

「愛と元気なまち日野町」にすること、将来にわたって、誰もが夢を持って生きいきと、幸せに暮らしていけることができるように、皆様とともに手を携え、微力ではありますが、一生懸命頑張っていく覚悟であります。どうぞよろしく願ひいたします。

■就任あいさつ